

高等土木工學第一卷奧付

應用地質學
應用地震學
土性力學

非賣品
不許複製

昭和七年一月二十五日印刷

昭和七年一月二十八日發行



平林武

東京市牛込區鶴戸町二七

著作者 物部長穂

東京市麻布區六本木町六七

山口昇

東京府下世田ヶ谷東大原一一二七

堀江關武

東京市小石川區諏訪町五五

常磐印刷所

東京市小石川區諏訪町五六

發行所 常磐書房

東京市小石川區諏訪町五五

電話小石川(85)一三一六番

振替東京七一七五八番

頁	行	誤	正	
		正	真	
百次	6	流量との關係	v	
4	特殊構造	129	11	
2	255	*	13	
5	橋梁及道路	130	7	
本文	2 13	其面積 $2\Delta 0 \text{ cm}^2$	132	10
6	想像出来る	135	16	
8	第7圖	136	5	
9	雀岡	*	8	
10	Fより 6	9△2 mm	902 mm	
19	4	流下雨量も	140	24
27	4	殆ど著しい	*	25-26
29	表の下	鳴瀬上川	141	15
35	6	他岸へ向方を	*	24
37	16	右岸	*	3
38	18	河床が	*	11
4	27	幼物線	*	24
43	第22表	2,084	1,042	
4	1,982	*	19	
4	4,006	991	*	
4	1,942	2,053	20	
4	1,944	971	147	
4	3,880	972	*	
4	2,013	1,043	148	
4	2,111	1,056	*	
4	4,124	2,062	16	
45	5	$\frac{(J - \frac{g}{y})^2}{y - \frac{x^2}{z}} / Q$	$\frac{G - \frac{g^2}{y}}{y - \frac{x^2}{z}} / Q$	
47	9	挟穿箇所	152	14
51	3	Doubt	153	3
4	6	Minor bed	155	18
64	3	其名の示す如く	156	1
4	4	Modal water level.	*	18
4	6	位度であるたま	161	15
46	20	兩端水標	166	下より 14
47	8	(CHH)	167	8
72	3	表はてれ	168	14
76	16	形狀と水位に	*	各洪水に際しての
79	4	水位となり	170	13
4	5	而して Z	下より 3	屈曲なる時には
82	1	$Q = C(h \pm z)^2$	172	2
4	8	$20 < h < 5.0m$	174	24
4	第58圖	富士川松野流量曲線圖 (其二)	176	15
99	15	流失率	180	2
101	下より 10	Humphrey	*	3
119	3	$ev^2 v$	*	10
120	5	焚ひ z_m が着す	181	27
121	9	$\log n(e + e^2)$	183	下より 7
123	3	$\log n(e + e^2) \cdot$	185	$2.06 \times 1.3^{\frac{1}{3}}$
126	24	$\log n(e + e^2) \cdot$	187	(20)式
127	17	Buzin	188	1
		$V_m + 14V'_{h,f}$	*	9
		$V_m + 14V'_{h,f}$	*	14

河川工學正誤表(△印は缺字及不明)(2)

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
191	13	烟閣があつて	煙閣等があつて	19	1	$\logmat(1 + \frac{2a}{z})$	$\frac{1}{4} \logmat(1 + \frac{2a}{z})$
"	17	堰外遊水地	堤外遊水地	241	17-18	(Fore apr-on)	(Fore a-pron)
193	20	砂拂築	砂拂築	342	17	分水路に堰を	分水路口に堰を
"	21	砂拂築	砂拂築	"	19	流入せしむる爲である	流入せしめて居る
195	10	移度川上	程度以上	"	下より 1	右間 4 横間	右岸 4 横間
"	16	-時著しき	一時に著しき	343	下より 8	構造は種々あるが	構造は種々あるが
198	14.	入る様な所は	入る様な所では	344	下より 4	木製扉の時は前筋(7)式	木製扉の時は(7)式
199	2	導流堤	分流堤	345	13	然後	鐵板
200	17	=0.23m ²	=0.23m ²	348	下より 6	堰堤の監視	堰堤の監視
"	18	換算するために	検算するために	"	下より 1	鐵製栓に取付けたる	鐵製支架に取付けたる
205	2	$f = 0.45V^{3/4}$	$f = 0.45V^{3/4}$	350	3	起伏桿	眉堀
206	9	橋があるがよい	橋があるのがよい	351	下より 5	(17c)	(17c)
215	4	堤改との間	堤改との間	352	下より 5	第3△4圖	第384圖
"	第171圖	$a' b' c'$	$a' b' c'$	355	第388圖	第二床固	第二床固
219	第56表	$H_1 = \text{圓となしたる}$	$H_1 = \text{缺圓となしたる}$	358	下より 3	舟開戸	片開扉
229	第198圖	境町陥開平面	境町陥開平面圖	360	下より 5	次次に依るに	同表に依るに
236	6	防震せねばならぬ	防震せねばならぬ	361	下より 8	根利川	利根川
241	3	丸太の代に	丸太の代りに	364	第407圖	正面	縱斷面
243	14	下から出ない	下がらない	364	第408圖	縱斷面	正面
245	10	木の長	木の長	365	第413圖	縱斷面	橫斷面
252	5	根固に	根固と	365	第412圖	横断面	縱斷面
270	23	水制の高	水制の高	366	下より 3	舟開戸	垂屏
271	9	水制頭に	水制頭に	367	下より 2	$f = 0.01$ 管の摩擦係数	$f = \text{管の摩擦係数}$
273	下より 5	其中央半分餘を石張として	其中央半分餘を石張して	371	下より 6	計費高水位上 3	計費高水位上 5
275	15	平均水深との比	平均水深との比	375	下より 8	那司	那賀
279	14	水深を規定して	水深を規定して	"	下より 7	大野、白、	大野、大分、白、
283	3	12(2.7×1.8×1.5m)	12(1.8×1.8×1.5m)	"	下より 3	那珂	那賀
"	4	18(1.8×1.8×1.5m)	18(2.7×1.8×1.5m)	"	下より 3	那賀	那賀
289	第201圖	B-1.2×1.5×1.8-18	B-1.2×1.5×1.8-8	376	5	年表	年度
291	27	足らなかつた△ら	足らなかつたから	"	20	982.0	982.0
294	5	兩水位の行はれる	兩水位の變化が行はれる	386	6	を改善し	を改作し
296	16-17	水位が互に高い時には	水位の何れが高いか定まつて居ない時には	389	14	本川	幹川
298	15	(Effective length)	(Effective length)	396	3	兩川横断する	兩川を横断する
"	18	船柱綫	船柱綫	399	16	河潮雨水	河潮雨水
302	26	壅しき流水	壅しき水流	401	19		「せんせん洪水は元荒」の9字削る
305	4	孔口より流量を	孔口よりの流量を				
314	下より 4	鐵板は	鋼板は	"	20	一朝破	一朝破堤せんか元荒
316	1	横桁	樋	402	19	中川に併行し	中川に並行し
321	2	開渠式	開渠式	404	14.	5,520	5,570
"	4	原意築	原意築	412	8	潮す、流路 220kmにして	朝す、流路 220km、
323	25	幅△0cm	幅 40cm	"	15	黒保町	黒保町
326	17	孔穿ちて	孔を穿ちて	413	9.	舟堀部	舟堀部
335	5	(Fixed Weir)	(Fixed weir)	415	18	改修起點下八千代橋	改修起點より八千代橋
"	(Movable Weir)	(Movable weir)		416	5	交加し	交叉し
337	6	c d の如く	c d の如く	"	24	直接別繩上	細繩上
"	9	(1.00-V0.30)	(1.00-V0.30)	"	26	0.9m とす又之に要する。	0.9m とす。